

帰国研修員との交流

【研修成果のフォローアップ】



帰国研修員（ソンさん）の事務所で面談



帰国研修員（ニャンさん）の事務所で面談

- 1) 出張者 : 副理事長（研修部長） 上野 正勝
- 2) 現地面談：帰国研修員 Mr. Son (ベトナム：ハノイ)
Ms. Nhung(ベトナム：ハノイ)

2014年4月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

～JICA/KITAの技術研修を終了後、母国（ベトナム）で活躍されています帰国研修員メンバーの研修成果を紹介します～

今回、ご紹介します帰国研修員便りは、昨年度（2013年）の技術研修でベトナムから参加された Mr. Son と Ms. Nhung 両氏の近況報告です。当協会の上野副理事長（研修部長）が、ベトナムへ出張し（2014年3/24～3/29）、現地で帰国研修員を訪問し、技術研修成果について面談された最新情報です。

1. 現地で交流された帰国研修員



上野副理事長
（研修部長）



ハノイで合流



ソンさん

- Mr. DINH Xuan Son
- テクノコム 取締役
- 2013年7月に JICA/ KITA 技術研修に参加



ニユンさん

- Ms. DUONG Thi Tuyet Nhung
- エコ・ベトナム社長
- 2013年7月に JICA/ KITA 技術研修に参加

2. 両氏が受講されたJICA/KITA技術研修の内容

(1) JICA研修コース名

- 和文 ベトナム生産性向上のための実践的経営管理(A)
- 英文 Practical Corporate Management for Productivity in Supporting Industry (A)

(2) コースリーダー 宮本 正

(3) 技術研修期間 2013年7月23日～2013年8月3日

(4) 参加した研修員 6名

閉校式の記念撮影



3. 帰国研修員との面談と工場見学

3-1) ソンさん(Mr. Son)の研修成果報告

- ・勤務先(企業名) TECHNOKOM 取締役
- ・主力商品 バイク用部品製造(約120種類)
- ・会社設立 2010年10月
- ・JICA/KITA技術研修に参加 2013年7月

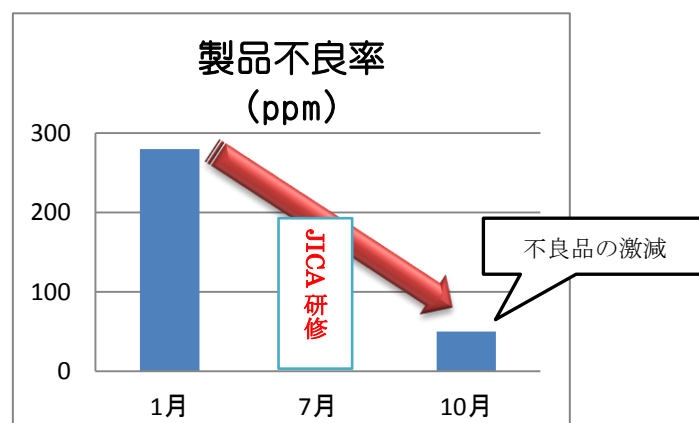
【帰国後の活動】

- 1) 各職場のリーダーを集め話し合いを重ねた。
 - ① 競争力強化 ②コストダウン ③生産性向上 ④職場の環境改善
- 2) 5S部を作り、毎週巡回チェックを行った。
5Sは生産管理の基礎・基盤である。砂上にはビルは建たない。
- 3) 部署ごとに帽子の色を変え、「役割の認識」を深化させた。
- 4) 現地の青柳SV(シニアボランティア)の指導を受けた。

【成果】

- 1) 製品不良率の低減

年月	不良率
2013 年 1 月	280ppm (0.028%)
2013 年 7 月	=技術研修期間=
2013 年 10 月	50ppm (0.005%)
2014 年 4 月	目標:30ppm



- 2) 2013年の納入会社10社内で第3位を確保。(品質、納期で高い評価を受けた)
- 3) 「我々の給料を払ってくれるのはお客様」という意識が徹底。

【工場内風景】



自動二輪車用部品の研磨作業

【工場内風景】



整理整頓が行き届いた金型置き場。
5 S 活動の成果。

3-2) ニュンさん(Ms.Nhung)の研修成果報告

- ・勤務先(役職) ECO VIETNAM 取締役社長
- ・主力製品 ①電気掃除機用部品(厚さ0.5mmの薄板から製造したパイプ)
②モーター用コア(電磁鋼板のプレスによる打ち抜き)
③ドラム缶製造
- ・JICA/KITA技術研修に参加 2013年7月

【帰国後の活動】

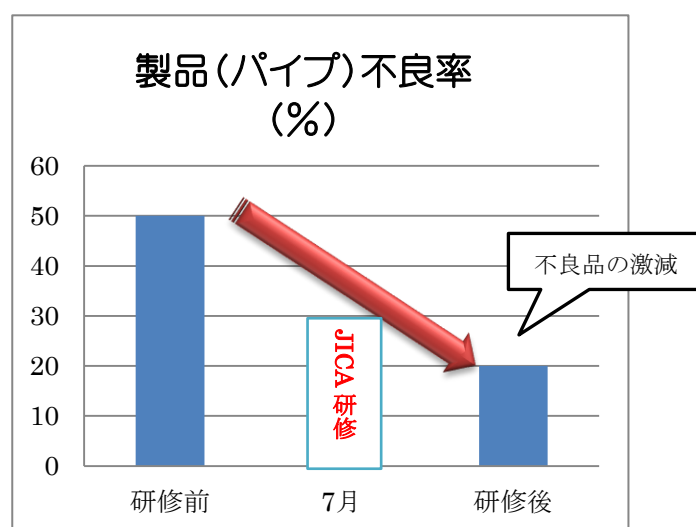
- 1) 技術研修で学んだ「全員参加による問題解決」を自社で実践し、「Only One になるか、普通の会社になるか」に従業員へ訴えた。
- 2) 「改善」の徹底とコストダウン精神を普及させた。

【成果】

- 1) 製品不良率の低減

年月	不良率
研修前	50%
2013年7月	=技術研修期間=
研修後	20%
目標	10%以下

- 2) 2015年には、スリットラインを導入予定(投資に積極的)



【工場内風景】



出荷を待つ溶接パイプ。このパイプは電気掃除機の吸引パイプとして使用される。

【工場内風景】



最近導入されたプレス機。電磁材料の型抜き等に使用されている。

4. 上野副理事長の面談後の印象

昨年7月にJICA-KITA技術研修に来られたMr. SonとMs. Nhung にベトナムでお会いして近況をヒヤリングすることができました。

両氏が勤められている工場を訪問しましたが、2社ともに「5Sの徹底・無駄の削除・品質向上」に目覚ましい成果を出されていることが実証され大変感動を受けました。

今回面談した両研修員が目覚ましい成果を挙げた原因は、下記4点が大きな要因であったと思われます。

- ① 研修員の人選(社長、経営責任者が研修に来日されたこと)
- ② 技術研修が、「実学」中心のカリキュラムであったことで工場見学(体験)に重点を置いたこと。
- ③ 日本的経営・人材育成が彼らに感動を与えたこと。
- ④ ベトナム現地のSV(シニアボランティア)による実務指導が行われたこと。

研修員の招待による夕食会（3月28日：帰国前日）



今回は日程上の制約で2社しか訪問できませんでしたが、研修員の皆さんが連絡を取り合い、夕食会を開催して頂きました。夕食会へ出席された帰国研修員の皆様を紹介します。左列前から、リンさん、ニユンさん、チェンさん、ソンさん。右列前からガーさん（通訳）と上野部長。

5. 2013年に実施された技術研修コースの全体概念図

【ベトナム生産性向上のための実践的経営管理(A)】

上位目標

本案件を通して獲得した生産性向上や品質管理の技術により、VCCIの支援能力が向上し、またSV支援先企業の実業性が向上し、ベトナムの持続的な経済成長に寄与する。

案件目標

研修内容を踏まえて、低炭素化社会実現のための技術導入の計画が策定・提案される

単元目標 1

生産現場でムリ、ムダを発見して、それらを解決する方法を提案する。

5S
IEの基礎

単元目標 2

生産現場で発生している品質上の問題の発見と解決策を提案する。

QCC
品質管理の基礎

単元目標 3

工場の生産管理の進め方を通して総合的な生産向上策を提案する。

生産管理
生産状況の見える化
3Mの生産性
企業改善の進め方

単元目標 4

持参IASのテーマを具体的に展開し、それに有効なAPを完成する。

IAS課題
解決に向けての方策検討
AP事前評価と完成

日本企業における実態理解
現地訪問と現地での講義により、日本の企業における生産性向上、品質向上の活動実態の理解

本邦 研修

6. 技術研修コースの思い出アルバム

6. JICA-KITA研修コースの写真集

(2013年7～8月)

